

広報

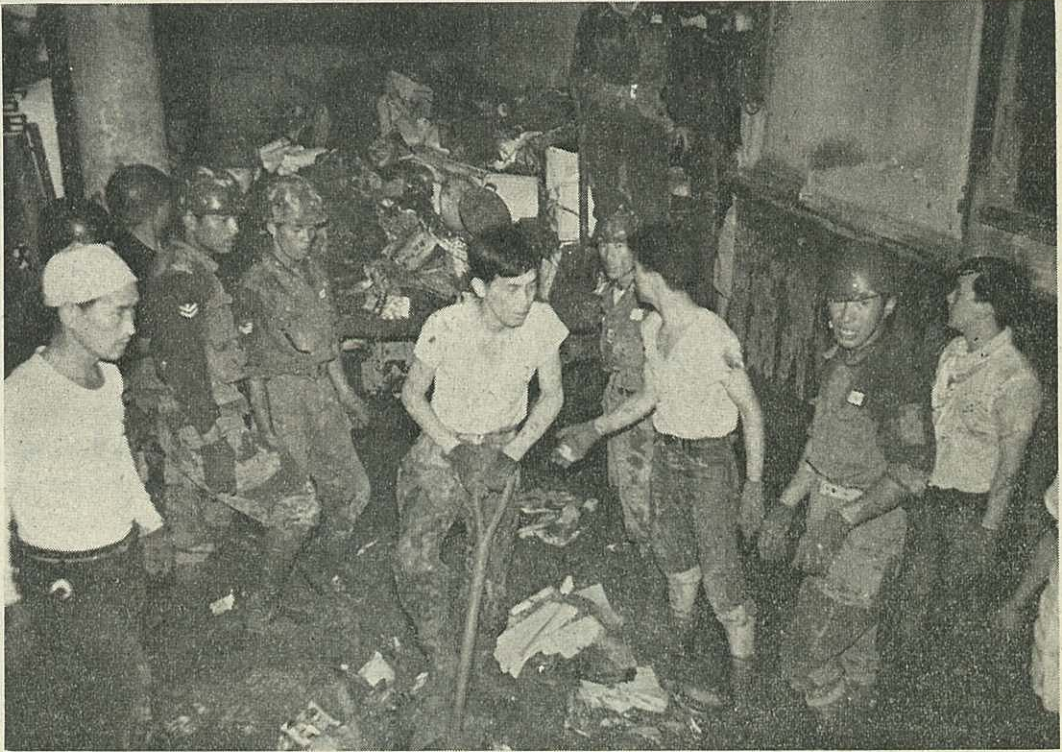
いまり

市の人口
7月1日現在
総人口 66,266人
男 31,170人
女 35,096人
世帯数 15,426世帯

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

○毎月1日発行 昭和42年8月1日 伊万里市役所秘書企画課発行

No. 160



—— 自衛隊員といっしょになって排土作業中の市民 ——
(7月13日よる11時30分 今町で)

広報こよみ

1日・20日 交通安全の日

13日 家族のど自慢大会(ポート・センター)

18日 無料法律相談

20日 黒ん坊大会(ポート・センター)

30日 ポートセンター海閉じ式

★つごうによって変更することがあ

ります。

★あなたの町や部落で明るい話題がありましたら市役所秘書企画課広報統計係へお知らせください。

伊万里市は交通安全宣言都市です

アッ危い そのスピードが死を招く

8月

被害総額120億円にのぼる 猛威をふるった7月豪雨



(上の写真は、河川決壊で一面埋没してしまった水田〔大川内町福野〕)

7月9日、西日本を襲った集中豪雨は、伊万里市にも甚大な被害を与えました。死者12人・重軽傷者435人・住家の全半壊182戸など家屋関係のり災者だけでも2万800人に達しました。農産物・農地・道路などの被害を加えると被害総額は、120億円の巨額にのぼります。

こんどの災害に対して、市は、直ちに対策本部を設け、奉仕団・自衛隊などの協力をうけて救援・排土・防疫などの復旧に全力を尽くしました。

り災者も、泥土のなかから復旧への意欲を燃やして努力を続けています。

7月9日の集中豪雨は、12時から14時までのわずか2時間に144リミという記録的数字を示し、大雨洪水警報は、13時に受信するという急襲に、不意打ちをくらってしまいました。

集中豪雨は、市内各地に、山腹崩潰・河川の氾らん決壊を引き起し、そのため、濁流は奔流となって、人を呑み、家を流し、橋を落し、最後には、街や田畑を泥土のなかに埋め尽くしてしまいました。

道路の寸断・通信の杜絶などに加えて、車両の浸水による使用不能は対策本部をはじめ、市全体を孤立状態にしてしまい、復旧の目途を遅らせました。

しかし、当日の夕がたから、被災をまぬかれた民間事業所の車両提供農家・婦人会のたきだしなどの協力



到着した救援物資

があったため、被災者の夕朝食は確保できました。

9日深夜から続々と毛布・かんばんなどの救援物資が到着しはじめ、翌10日からは、陸上自衛隊第4特科連隊を主力とする各隊や市内外からの奉仕団の来援で、泥土除去・防疫給水など各作業が本格的に始まりました。

泥や汗にまみれて排土・防疫などの作業に奉仕された団体は33団体・延べ2,352人に達しました。

自衛隊も排土・防疫・給水などの作業に1週間・延べ4,221人を動員、200両ちかくの車両を駆使して、市民といっしょになり不眠不休で活躍しました。

更に、これらの作業を円滑に進めるために伊万里警察署が他署からの応援をうけ交通整理に当たったことも見逃がせません。

各地からの善意に感謝を

災害が発生すると、ややもすれば市民生活のなかで感情的なモツレやいざこざがでないとも限りません。

わたくしたちは、「ありがとう・すみません・どうぞ」の三つのことば運動を進めてきた市民です。

こんどの災害に当たって、各地・各団体・各個人から寄せられた労力奉仕・見舞い金・見舞い品などの善意に対して、わたくしたちは、感謝の気持を生埋忘れることはないでしょう。そして、郷土の復興に努めるのが協力・援助の手をのばして下さったかたがたへの唯一のご恩返しになるのではないのでしょうか。

お母さんが勤めている伊万里電報電話局の桑原局長がこれを聞いて、このままで小さな御霊も眠れないだろうし、あとに残された者として、いつまでもやり切れないと、職員のかたがたと計って捜査隊を組織して、二十一日史子ちゃん捜しが再び始められた。

◆「至誠天に通ず」のことばどおり、電報電話局の皆さんの真心が、幼ない史子ちゃんの魂に通じて、木須の波止の海辺に眠っている遺体が発見された。

◆いっしょに流されたおばあちゃんと離れ離れになつてなくなつた二つの遺体が、今は再び同じ蓮台の上に並んで永眠していただくことができることになつた。

◆遺族のかたの心もいかほどか慰められたことかと思う。それとともに、人の誠は、必ず通ずるものだということを如実に体験させてもらった。

◆桑原局長ほか伊万里電報電話局のかたがたのやむにやまれぬひたぶるな心に、衷心から敬意と感謝のまこととを捧げたい。

災害お見舞い申しあげます

伊万里市長 山口 正次

七月九日の記録的な集中豪雨で、伊万里市は、かつてない甚大な被害を受けました。

被災者のかたがたに心からお見舞い申しあげます。

市は、直ちに災害対策本部を設け、被災者の救援・防疫などに万全を期してきました。しかし、対策本部が孤立したため、皆さんの意にそわなかった点が多々あったと考えます。現在、全力をあげて復旧対策に専

念しております。

わたくしは、市議会の代表といっしょに二十三日上京し、政府関係各省へ復旧事業の早期実施を要望してきました。

こんど、二度と悲惨な災害を繰り返さぬためには伊万里川の改良や防災ダムの建設など、根本的な防災施策が必要になります。

一日もはやく、旧に復するよう、皆さんのご奮闘とご協力をお願いします。



通信がとだえた9日夜から伊万里高校2年筒井正行君などアマチュア無線伊万里クラブのメンバーは、市役所の車庫よこに通信局をもうけ県と市の災害連絡に活躍しました。

昭和42年7月豪雨による被害

人	死者	12人		
	重傷者	36人		
	軽傷者	399人		
家	住家	全壊流出	74戸	302人
		半壊	108	510
	家	床上浸水	3,397	12,422
		床下浸水	2,165	7,565
屋	非住家	全壊	36	—
		半壊	29	—
合	計	5,744	20,799	

厚生 住宅など
被害額 27億5,000万円

経 済 浸水店舗 1,040・被害事業所 133・鉄道バス通信など
被害額 22億5,200万円

農林水産 水稻など 144ha・農地流失埋没 930ha・ため池132か所
頭首工 242か所・水路 208か所・道路 338か所・橋 125か所
みかん撰果場・林道 2,341m・山腹崩潰 648か所・水産(真珠など)
被害額 48億0,299万円

土 木 道路 法落28か所 延長5.850m・決壊95か所
河川 破損86か所延長12,580m
決壊71か所・橋流失44か所
泥土除去8,300m

市関係 7億9,841万円
県関係 11億1,483万円
国関係 1億円
被害額 20億1,324万円

教 育 小学校1,510万円・中学校3,545万円・その他施設299万円
被害額 5,354万円

被害総額 119億5,623万円

水害写真を貸してください

増水するもようやまなましい災害のつめあと・復旧作業の状況など写されたものをお貸しください。

昭和42年7月豪雨災害写真集を作成し、永久に保存したいと思います。

▶お貸しいただくもの 白黒ネガフィルム

▶要領 撮影日時・場所・住所・氏名を明記してください。枚数に制限ありません。

▶送り先 市役所秘書企画課

▲しめきり 8月31日

▶焼き付けのあとネガフィルムはお返します。

◆住宅被災のかたへ◆

住宅金融公庫は、災害復興住宅の建設資金・補修資金を融資しています。ご希望のかたは、9月末までに、県土木事務所か市所役へご相談ください。

◆七月九日の大水害で、死者十二人という悲しい犠牲をだしてしまつた。心からなくなられたかたがたのごめい福を祈る。一人でもこのような犠牲者をだすということは、為政者の深く反省しなければならぬことである。

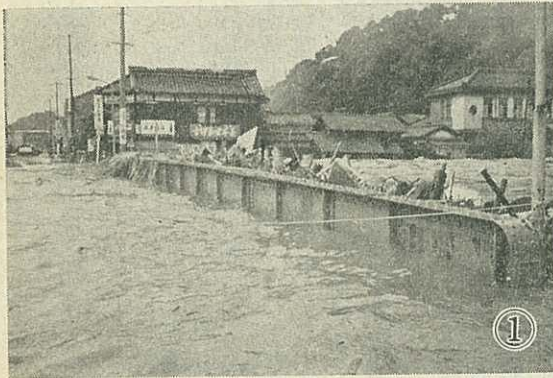
◆十二人の死者のうち、当初は、行方不明が七人もあつた。そこで、親族のかた部落の人、それに消防団・漁業組合・関係職場のかたまで出動して昼夜を分かたぬ捜査が続けられた。

◆そのかいがあつて七人のうち六人が発見されたが、生まれて七か月しかたつていない犬山史子ちゃんの遺体だけがどうしても発見できない。とうとう、これ以上は無理と十九日一応捜査を打ち切り、二十一日史子ちゃんだけは行方不明のまま、十二人のかたの合同慰霊祭が行なわれた。

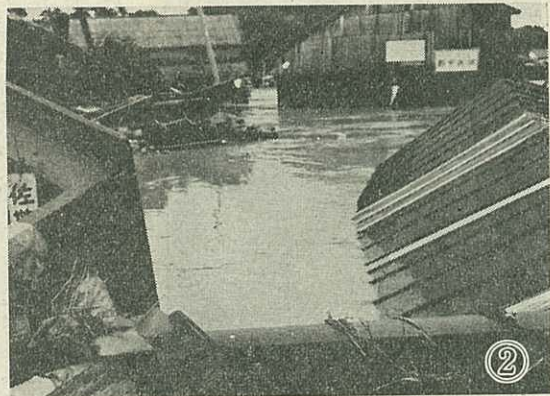
◆ところが、史子ちゃんの



7月豪雨のつめあと



①

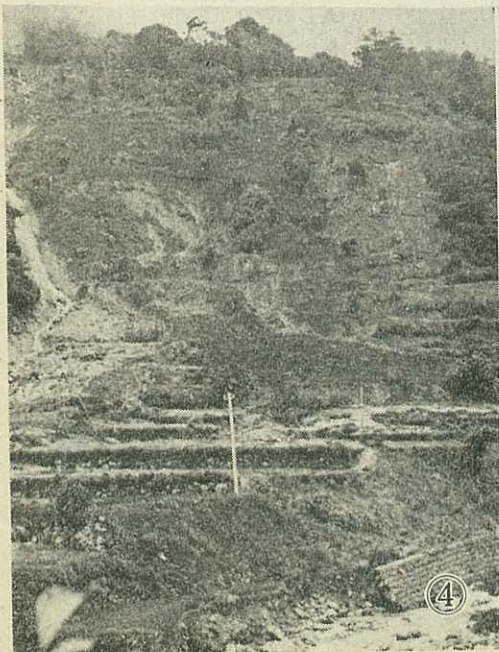


②

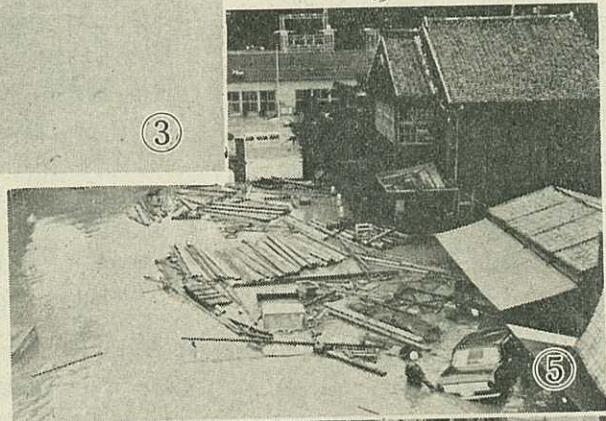


③

- ⑤ 立花町伊万里保育園付近の道路
- ⑥ 立花町
- ⑦ 大川内町大川内山
- ⑧ 立花町公園橋付近
- ⑨ 銀座通り
- ⑩ し尿処理場付近に集めたごみ山の焼却作業
- ⑪ ⑬ ⑭ ⑮ は、西日本新聞社提供



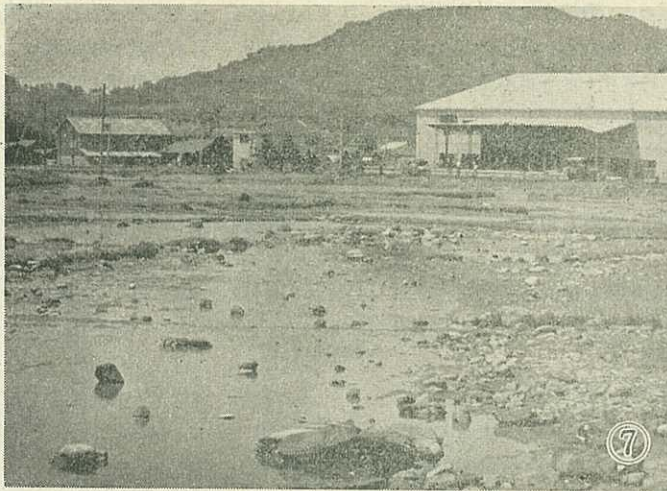
④



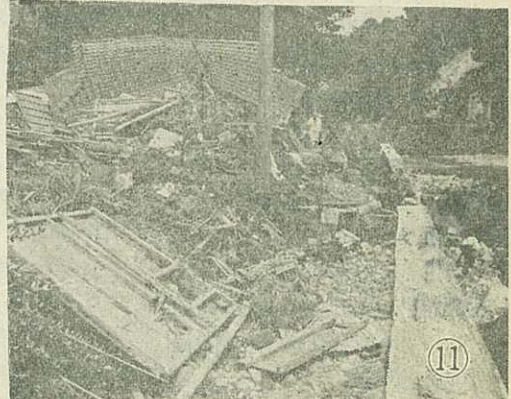
⑤



⑥



写真は
 ① 幸善町の延命橋
 ② 立花町中島橋付近
 ③ 国道二〇二号線（二里町大里）
 ④ 東山代町滝川内
 ⑤ 市役所前広場
 ⑥ 伊万里駅前四つ角
 ⑦ 大坪町みかん共同採果場付近の水田



天皇・皇后両陛下から金壺封をはじめ次のかたから災害見舞金をいただきました。厚くお礼を申しあげます。

(受付順・敬称略)

▶災害対策本部受け付け

- 5万円 松島町 金崎組金崎政太
- 1万円 鳥栖市柚比町221
古賀建設古賀雷太
- 1万円 鹿島市長 矢野正治
- 1万円 鹿島市議会
- 1万円 ラクダ産業株式会社
- 2万円 金光教
- 3万円 佐賀市長 宮田虎雄
- 10万円 福岡市長 阿部源蔵
- 10万円 参議院議員 杉原荒太
- 2万円 熊本県議会議長
田代由紀男
- 1万円 太良町長
西村寿雄
- 1万円 嬉野町長
大渡鉄郎
- 5,000円 塩田町長
永石一郎
- 3万円 福岡市 戸ノ嶋商会
代表取締役戸ノ嶋盈次
- 4,938円 木須町
県営住宅婦人部一同
- 30万円 佐賀相互銀行
社長原田欽三
- 20万円 親和銀行
- 10万円 K.K内藤建築事務所
- 1万円 愛知県蒲郡市
鈴木織物K.K
- 1万円 松浦市議会議長小松春紀
- 2万円 松浦市長 春藤猪間吉
- 10万円 丸三商事K.K社長笠倉大
- 50万円 佐賀銀行 頭取土井未夫
- 5,000円 佐賀県国民健康保険団体連合会理事長宮田虎雄
- 5万円 芦刈町
- 1万円 山代町西分部落
- 2万円 鳥栖市長 安原謙市
- 1万円 社団法人 西分共栄社
- 1万円 全国自治協会
佐賀県支部長 持永秋雄
- 5万円 久留米市
- 3万円 佐賀トヨタ自動車K.K

- 取締役社長 金子道雄
- 10万円 横浜市セブンスデー・アドベンチスト日本連合伝道部
久留米市セブンスデー・アドベンチスト久留米教会
- 10万円 九州相互銀行
- 10万円 西日本相互銀行
取締役社長 森俊雄
- 3万円 東京都港区曹洞宗宗務庁
- 1万円 社団法人佐賀県建設業協会
- 5,000円 松浦市今福町飛鳥
寺田・中野・末石・遠藤
吉浦・今村・太田・庄司
各商店
- 1万円 廉隅伝次
- 1,000円 宇和島市賀古町2丁目
宇和島社会保険病院西川猪佐美

- 社会福祉法人 済昭園
- 5,000円 唐津市議会議長殿川勇
- 5,000円 楠久炭鉱婦人会
- 1万円 高千穂交易株式会社
- 10万円 日祐伊万里店 古川貞雄
- 3,000円 江北町長 山下琢二
- 1,000円 波多津町筒井子どもクラブ
- 1,000円 東京都太田区蒲田4-38-2中野英光
- 5,000円 人吉市上青井町
人吉旅館 堀尾芳人外従業員一同
- 3万円 熊本営林局長
- 5,000円 東松浦郡町村会
- 10万円 長崎相互銀行
- 5,000円 佐賀県市町村教育委員会連合会
- 6万円 唐津・東唐津ロータリー

災害義捐金626万円を越える

天皇・皇后両陛下からも金壺封

- 2,000円 新潟県北蒲原郡豊栄町
新井町 中川敬康
- 2,000円 小倉原町4丁目359
バコダ会事務局 石橋金丸
- 1万円 伊万里漁業協同組合
組合長理事 岩永綾太郎
- 5万円 北九州市長 谷伍平
- 20万円 合資会社本山商店
代表社員 本山昌太郎
- 1,000円 東京都文京区大塚6-19-4 太田尾勝治
- 3万円 唐津市長 瀬戸尚
- 1,000円 福岡県粕屋郡志免町堺
田4 東光寺旭製作所吉塚勝利
- 5,000円 伊万里市陣内婦人会
- 3万円 名古屋市長 杉戸清
- 140万7,000円 (配分金) 佐賀県
知事 池田直
- 4万7,000円 (配分金)
内閣総理大臣 佐藤栄作
- 2万円 福島町塩浜区一同
- 1万円 武雄市役所市史編さん室
松尾博二
- 1,000円 藤津郡塩田町五丁目
クラブ
- 8万円 佐賀・佐賀西ロータリー
クラブ
- 3,000円 楠久炭鉱労働組合 青年協議会長 実松広喜外会員一同
- 5万円 K,K松早石油店
伊万里中央給油所
- 10万円 衆議院議員 藤山愛一郎
- 1,000円 匿名(水害当日、自動車で本市を通った人)
- 5万円 松栄化学工業K.K
(本社)
- 2万5,850円 松栄化学工業K.K
職員一同
- 500円 東山代小 森永純子(5年)・曾代島富子(6年)拾得物
待満了につき
- 10万円 福岡市 初村第一倉庫K
K代表取締役初村与左吉
- 1万円 伊万里町仏教会
- 1,000円 浦之崎郵便局一同
- 2万円 K.K日本技建
- 5,000円 佐賀県治山治水協会
会長 藤井儀作

- 3,000円 佐賀県林道協会
- 5,000円 宮崎交通乗務員一同
- 7,000円 五洋建設K.K伊万里出張所 職員一同
- 3万円 西松浦家畜商組合
代表 組合長 木須鶴次
- 10万円 伊万里市議会議員一同
- 2万円 伊万里市長 山口正次
- 1万円 伊万里市助役 竹内通教
- 1万円 伊万里市収入役田中藤太
- 8万2,158円 佐賀市職員組合員一同・佐賀市議会議員一同
- 46万円 日本赤十字社佐賀県支部
- 2万2,850円 佐賀農業高等学校生徒会・JRC・農業クラブ・職員
- 5,000円 福岡市東中州
湖月代表者 池田泰章
- 5,590円 久恒楠久炭鋳主婦会
- 1,000円 東京都千代田区NHK記者五十嵐肇・京都大学助教授(防災研究所) 村本嘉雄
- 2万2,953円 松竹K.K
- 1,000円 千葉県市原郡加茂村本郷1,421 時沢延侍
- 1,000円 伊万里高校
教員 村田昭典
- 3,000円 宮崎交通K.K
別府観光案内所長 手束武義
福岡観光案内所長 河野雅郎
- 2,944円 玉名市伊倉北方3,096 古閑祐而
- 2,800円 福岡県立宇美商業高校
家庭クラブ
- 1万150円 福富町長 鶴田守
- 500円 東京 山下

- 1万円 山代町善楽寺婦人会・若妻会
- 2万円 新天町
久富正敏
- 5,000円 山代町
向山区
- 3万3,700円 北波多
村徳須部落一同(40人)
- 5,000円 佐賀県林業構造改善事業推進協議会
- 5,545円 日本ダグジファイバースK.K松浦工場 従業員一同
- 7,700円 大阪市北区山崎町2
K.K焼売大楼 従業員一同
- 1万7,115円 柳川市
杉森女子学園生徒会一同
- 10万円 伊万里陶業K.K
社長 岩田蒼明
- 1,000円 匿名(東京都板橋区)
- 3万円 東京都荒川区東日暮里2丁目17-12(合資)はせがわ
長谷川静馬
- 8,300円 大阪市吹田市山手町
3-193 山口召二
- 3,500円 埼玉県南埼玉郡八潮町
木曾根402K.K長谷川製作所
従業員一同
- 2,000円 神戸市東灘区魚崎町横
屋295 板倉千鶴子
- 837円 兵庫県姫路市立英賀保小
学校4年2組一同
- 1万円 長崎県西彼杵郡西彼村上
岳(匿名)



市医師会・日赤など救護に活躍

- 3万円 東京都世田谷経堂3-28-5 坂本義鑑
- 1万4,250円 産炭地域振興事業団九州支部 職員有志
- 6,500円 山代町楠久青年団
- 500円 大町局付JRC一員(匿名)
- 30万円 伊万里信用金庫
- 1,700円 神埼中学校旧3年3組
同窓会一同(代表福田太郎)
- 1万670円 鳥栖市基里中学校生徒
会
▶教育委員会受け付け
- 2万円 中津市地域婦人団体連
合会(市連合婦人会へ)
- 2,800円 中津市万田子ども会
(市連合子どもクラブへ)
- ▶二里出張所受け付け
(二里町内の被災者へ)
- 5,000円 二里仏教会
- 1万円 仙台市土橋通16番地の4
久保五郎
- 5,000円 広厳寺
(昭和42年7月29日現在)

床上浸水世帯に1,000円 災害義捐金第1回配分

全国各地・各団体から寄せられた
尊い義捐金は、7月29日現在で626
万円に達しました。

市は、次のり災者に対して、区長
駐在員さんを通じて第1回の配分を
8月上旬に行ないます。

義捐金は、寄贈者の意志を尊重し
人的又は住家の被害を受けた居住者
へ公平に配分し、り災者の更生を計

るものです。

義捐金第1回配分率

- 死者・行方不明者1人 30,000円
- 重傷者1人 2,000円
- 流失又は全壊1世帯 10,000円
- 半壊1世帯 3,000円
- 床上浸水1世帯 1,000円
- △非住家の被害は対象にならない
- △借家の被害は、居住者を対象にし

貸主は対象にしない

△被害を受けたため、他に転出した
住民も対象にする

△床下浸水・床下土砂侵入は適用し
ない。

△重傷者は、災害が原因で1か月以
上の治療を要すると医師が診断し
た者

△床上浸水は、一率にする

△第2回目以降の配分率は、そのつ
ど決める。

災害復旧など3億4,000万円計上

第3回臨時市議会＝市税減免条例など可決

第3回臨時市議会が、7月31日・8月1日に開かれ、災害関係の議案9件を審議・可決しました。

災害の応急対策費・復旧費を中心とするこんどの補正予算は、一般会計で3億4,066万円を追加計上しました。

また、8月分から徴収することになっていた新水道料金は、来年4月分から延期になりました。

被災者の市税は 減免します

◎ こんどの災害で被害を受けた納税義務者は、ことしの市税を減額か免除することにしました。

市民税・国民健康保険税の減免

理 由	軽減免除の割合
・死亡した場合	全 部
・生活扶助を受けるようになった場合	全 部
・障害者になった場合	10分の9

合計所得額が200万円以下の納税義務者で、住宅や家財が価格の10分の3以上の被害を受けたとき

合計所得金額	損害の程度	軽減又は免除の割合
100万円以下	2分の1	全部
150万円以下	4分の1	2分の1
150万円をこえるとき	8分の1	4分の1

土地に対する固定資産税の減免

農地や宅地などが流失・水没・埋没・崩壊などで作付不能か使用不能になった場合。()内は軽減免除の割合

▷被害面積がその土地の10分の8以

- 上のとき……………(全部)
- ▷被害面積がその土地の10分の6以上10分の8未満のとき…(10分の8)
- ▷被害面積がその土地の10分の4以上10分の6未満のとき…(10分の6)
- ▷被害面積がその土地の10分の2以上10分の4未満のとき…(10分の4)

家屋に対する固定資産税の減免

- ()内は軽減・免除の割合
- ▷全壊・流失・埋没などで家屋の原型をとどめないとき・復旧不能のとき……………(全部)
- ▷大修理を必要とし、家屋の価格の10分の6以上の価格を減じたとき……………(10分の8)
- ▷屋内・内壁・外壁・建具などが損傷し、居住・使用できにくくなり家屋の価格の10分の4以上10分の6未満の価値を減じたとき……………(10分の6)
- ▷下壁・畳などの損傷で居住・使用できず、修理・取り替えを要し、家屋の価格の10分の2以上10分の4未満の価値を減じたとき……………(10分の4)

被害を受けた償却資産に対しても家屋の例で軽減・免除します。

◎ 市民税・固定資産税・国民健康保険税は、7月から来年2月までの8期納入にしています。

しかし、災害で納税が困難な家庭もあるとみて、8月から来年3月までの8期で納入してもらうことにしました。

新水道料金は

来年4月に延期

◎ 6月定例会市議会で、8月分から新しい水道料金を徴収することにしていました。

しかし、二里町に新設した新設浄水場からの完全通水がはかばかしていることと、こんどの災害で需要者の大半が被害を受けたため、来年3月までは、旧料金を納めてもらうことになりました。

そのため610万円の財源が不足しますが、現在一般会計から長期借入れしている2,900万円の返済を一時繰り延べることにしました。

なお、こんどの災害で家屋の全壊・流失・埋没などの被害を受けられたかたの8月分の水道料金を減免します。

減免申請書は8月末日までに水道課へ提出してください。

用紙は、水道課に用意しています。

◎ 店舗・工場・事業場などを持つ中小企業者のなかで集中豪雨による被害を受け復旧資金を借りているかたには、年6分5厘をこえた部分の利率で計算した額を利子補給金として交付することにしました。

利子補給金は、借入れの日から3年間交付します。

無料法律相談所

△こんどの相談日

8月18日(金)10時～15時

△場 所 市役所市民相談室

△相談員 弁護士松岡良俊氏

市税の減免申請は8月末日まで
国税も災害で住宅や家財の半分以上が損害を受け、ことしの見積り所得額が200万円以下のかたは、減免の申請ができます。9月8日まで税務署へ申請してください。

一般会計補正の内容

こんど追加計上した3億4,066万円
の大半は災害の応急対策費・救助費
復旧費です。

この財源として、長期低利の借金
7,770万円・国県からの支出金1億
9,548万円・地方交付税4,800万円・
地元負担金1,843万円・寄付金106万
円をあてました。

◆ 災害救助費 1,180万円

たきだしや被災者用の食糧、学用
品代・住宅の応急修理費・障害物を
とりのぞいた経費・医療費などを計
上しました。

◆ 災害復旧費 2億7,452万円

応急工事・緊急工事費だけを計上
しています。8月の本省査定をまっ
て、9月以降の補正予算で復旧費は
ふえることとなります。

農地23か所・農業用施設20か所・林
地荒廃防止施設19か所・林道6か所
など農林水産施設災害復旧に7,383
万円を計上

道路・橋・河川など公共土木施設
復旧に1億6,794万円を計上

伊中・伊小など被災学校の建物復
旧・備品購入など文教施設に2,663
万円を計上

市街地の土砂排除・市営住宅修理
など公共施設復旧に570万円を計上

◆ 災害伝染病予防事業 215万円

被災地区の消毒に要したクレゾー
ル・石灰などの薬品や消毒機械購入
費を計上

◆ 災害清掃事業 583万円

開港祝賀行事 無期延期

伊万里港開港祝賀記念行事を
7月28日から8月2日まで予定
していましたが、無期延期しま
した。

7月豪雨による災害の復旧に
多くの経費と時間がかかるため
無期延期になったものです。

ごみ・し尿などを運搬するために
借り上げたバキュームカーや人夫賃
を計上

◆ 救援苗対策事業 614万円

再仕立苗代用としての種子・肥料
薬剤などの購入費や救援苗輸送トラ
ック借り上げ料を計上

◆ 中小企業復旧資金利子補給

3年間に2,025万円

42年度 283万円

◆ り災者公営住宅建設事業

1,030万円

り災者用として、久原に15戸の住
宅を建設するために計上

◆ 災害応急対策費 1,764万円

市有建物応急工事・使用不能にな
った会計機の購入費や修理費などを
計上

◆ 以上のほか、災害と関係なく、

次のように補正しました。

水田の航空防除作業で、防除面積
が当初の3,300ヘクタールから3,736
ヘクタールにふえたため、ヘリコプ
ター借り上げ料と薬品代に120万円
を追加

炭鉱離職者緊急就労対策事業で、
9月以降の工事を円滑にするため948
万円を追加

さきの議会で可決された市長の欧
州農業構造改善事業調査団派遣負担
金100万円の減額。山口市長は、欧
州視察をとりやめました。

大川内山キャンプ閉鎖

大川内山キャンプ場は、集中
豪雨のためバンガロー・涼み台
など流失倒壊のため開設できな
くなりました。

ことしは閉鎖します。

7月豪雨による家屋などの町別被害状況

(昭和42年7月22日現在)

町別	り 災 者		死亡者	流失埋没 全 壊	半 壊	床上浸水	床下浸水
	世帯数	世帯員					
伊 万 里	世帯 1,297	人 4,774	人 3	世帯 5 (3)	世帯 25	世帯 1,055	世帯 212
牧 島	670	2,497		6 (3)	9 (6)	554	101
大 坪	1,161	4,212		14 (3)	22 (1)	825	300
大 川 内	126	451	3	22 (13)	7 (8)	85	12
小 計	3,254	11,934	6	47 (22)	63 (15)	2,519	625
黒 川	75	242			3	24	48
波 多 津	70	265		(1)		14	56
南 波 多	115	388				52	63
大 川	481	1,579		2 (1)	9 (4)	173	297
松 浦	357	1,300	2	3 (3)	12 (4)	135	207
二 里	785	2,892	1	6 (6)	14 (5)	306	459
東 山 代	388	1,342	3	14 (3)	7 (1)	107	260
山 代	219	857		2		67	150
小 計	2,490	8,865	6	27 (14)	45 (14)	878	1,540
合 計	5,744	20,799	12	74 (36)	108 (29)	3,397	2,165

(注) () 内の数字は、非住家である。

選挙人名簿の登録は8月末まで

選挙人名簿の登録が行なわれています。次に該当するかたでまだ登録の申し出をしていないかたは8月31日までに市役所市民課または出張所で済ませてください。

- ▶昭和41年12月1日から昭和42年6月1日までに伊万里市に転入されたかた
▶昭和42年9月1日までに満20歳になられるかた
▶選挙権があっても名簿に登録されていないかた(4月に行なわれた地方選挙のとき入場券が配布されずに投票できなかったかた)

被災中小企業者に災害復旧資金をお貸しします

こんどの災害をうけられた中小企業者に事業の復旧に必要な資金をお貸ししています。希望されるかたは市役所商工観光課または商工会議所に申し出てください。

- ▶申し込み期間 9月30日まで
▶貸し付けの条件
○資金の使途 事業復旧資金に限ります。
○貸し付け限度 1企業200万円以内
○貸し付け期間 3年以内
○利子 日歩2或4厘以内(年6分5厘をこえる分は利子補給をします)
○償還の方法 月賦償還(6か月以内の据置期間を認めます)

○保証人 保証能力のあるかた2人以上が必要です。

そのほか、詳しいことは市役所商工観光課へお問い合わせください。

り災証明書を発行しています

7月の集中豪雨で災害をうけられたかたのり災証明書は、市役所総務課で発行しています。

8月31日までは無料です。

水害のあとしまつ 伝染病に注意

水害のあとは、恐ろしい伝染病の発生が予想されます。浸水地区には自衛隊・消防団などで薬剤散布を行ないました。

しかし、水害のあとにくる伝染病予防は、市民のひとりひとりの注意が必要です。

- なま水は飲まない
○なまものは火をとおしてから食べる
○炊事・食事前には手を洗う
○ぬれたものは乾燥させ、夜具など日にあてて清潔に
○蚊・ハエの発生しやすいところには薬剤を散布する

道路・河川の占用は 許可をうけてから

山間部を流れている河川は、川幅がせまい・急流である・川底が浅いなどのために、災害が発生することをいつでも忘れてはいけません。

道路(国県市道)や河川(一級・二級・準用河川・公有水面など)を占用するときは必ず管理者の許可をうけてください。

特に河川に堰(イセキ)を作るときは、管理者の許可をうけ、係員の指示どおりの工事をしてください。

許可をうけず勝手に工事をされれば、あとで取り除かねばなりません。こんごの災害をなくすためにも、道路や川をたいせつにしましょう。

なお道路や河川の占用について、詳しいことは市役所建設課へお問い合わせください。

計 量 器 相 談

水没した計量器の簡単な修理や相談に応じます。計量器が故障したり計量に不安なかたは計量器をもっておいでください。

とき 8月17日~18日 時間は 2日間とも10時から4時まで
ところ 伊万里公民館

次のかたからご寄付をいただきました。厚くお礼申上げます。(敬称略)

- 社会福祉事業費へ
○香典返しを寄付
○壹万円 吉永ニチ(二里三名)(伊商三年)
○五百円 匿名(伊万里局消印)
○壹万円 志渡沢シゲノ
(松浦町桃の川 亡夫義太)
五万円 隅田精一(立花町東門 亡母 ナラ)
○五千元 松尾倉次(松浦町中野原 亡妻ハル)
○参千元 中村 豊(木須町馬伏 亡母ヨネ)
○五千元 田口キヨ(大川町宿 亡夫俊吾)
○壹万円 中尾喜代次(大川内町市山 亡義母増田イト)
五千元 林イヅ(山代町)
○壹万円 高添門司(大川町大川野 亡妻よね)
市庁舎建設基金へ
○香典返しを寄付
○壹万円 前山幸雄(木須町東 亡母ハル)
○参万円 野林敏子(東山代町天神 亡夫敏孝)
市民会館建設基金へ
○篤志寄付
○参千元 川原鶴次(松島町)(昭和42・7・22現在)

